

第三回 市長対談

〈倉田栄一氏〉

6月9日、津市モーターボート競走場に元ボートレーサーの倉田栄一さんをお招きし、今年で60周年を迎えるボートレース津の歴史や当時の様子などについて、前葉泰幸市長がお話を伺いました。

ボートレース津の誕生

市長 ボートレース津(当時は津競艇)は、昭和27年3月に全国初の認可を受け、同年7月4日に岩田川河口で最初のレースが開催されてから、今年、60周年を迎えます。この第1回目のレースには、岩田川河口の阿漕浦と贄崎に1万5千人もの人が集まったと、当時の様子が伝えられています。



昭和27年に開催されたボートレース津第1回レースの看板

す。このころの思い出を教えてくださいいただけますか。

倉田 たくさんの方が岩田川に集まっていたね。私もボートに乗って宣伝に行ったことを覚えています。

市長 大変なにぎわいだったようですね。倉田さんは昭和27年12月に選手登録され、その後、昭和30年代には、最高グレードのSG競走で4回も優勝するなど、大変活躍されたそうですね。

倉田 昭和30年代は一番脂が乗った時期でした。地元のボートレース津で開催された記念レースで優勝したときは感慨深いものがありました。ボートレース津は私にとって大変思い出深い場所なんです。

市長 岩田川の河口から始まったボートレース津は、昭和44

年に現在の藤方に場所を移しました。同年6月29日に行われたオープンレースでは、初日の入場者数1万5,770人、売上9,402万円という新記録を達成しましたが、藤方に移転した新たな競走場はいかがでしたか。



ボートレース津開設当時のレースの様子

倉田 岩田川の河口にあったころは、船の出入りや波の影響でレースを途中で休止したりしたことがたびたびあったんですが、新しい競走場ではそ